

I 本事業の概要

1. 事業目的

近年、我が国では、人口の減少、少子高齢化など社会構造の変化に加え、世界的な未曾有の経済危機の下、食品流通業を取り巻く情勢は一層厳しさを増しています。このため、地域の商店街の「シャッター通り」に象徴されるように、地域住民への食料供給や商店街の活性化にとって重要な役割を担っている食料品小売店は減少の一途をたどっている。

一方で、消費者の安全・安心志向や鮮度志向の高まりを背景に、国内産、特に地域の農林水産物に対する購入ニーズが高まっているものの、食料品小売店が地域の農林水産物を安定的に仕入れることは難しい状態にある。

このため、食料品小売店が、商店街の空き店舗等を活用して、消費者の望む新鮮な農林水産物を安定的に販売することにより、商店街の集客力を高めるなど、地域の農林水産物を活用した商店街の活性化を推し進めていく必要がある。

本事業では、商店街の「シャッター通り」に象徴される食料品小売店の減少を食い止め、集客力を向上させ、商店街の活性化を図るために、食料品小売店が商店街の空き店舗等を活用して消費者が望む新鮮な地元農林水産物を安定的に販売する取組に必要となる地域流通モデルの構築を図ることを目的とする。

2. 事業内容

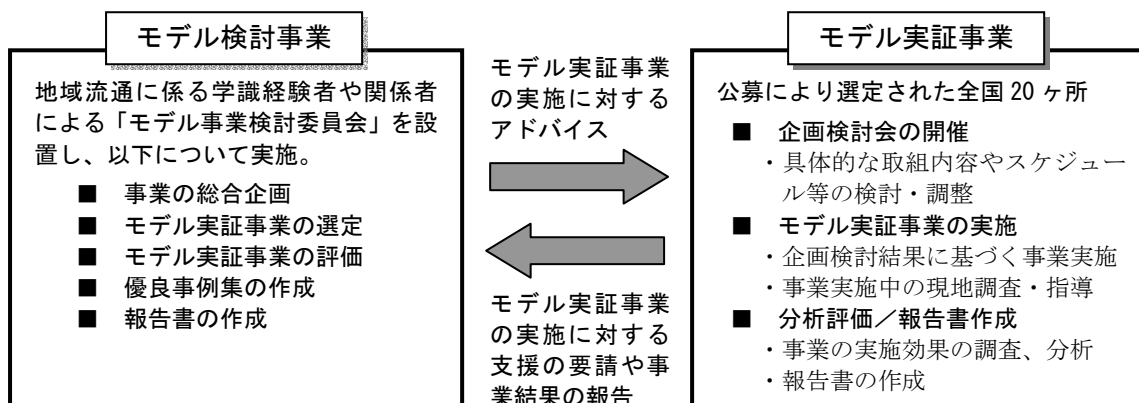
(1) モデル検討事業の実施

本事業においては、地域流通に係る学識経験者や関係者による「モデル事業検討委員会」を設置し、食料品小売店等が商店街の空き店舗等を活用して、消費者の望む新鮮な農林水産物を安定的に販売することにより商店街の集客力を高めるなど、地域商店街の活性化を目指すというテーマに基づき、モデル実証事業の公募要領の作成、モデル実証事業者の選定及びその事業者に対するアドバイス、実証事業の分施評価を行った。また、商店街等における地域流通に関する優良事例を収集し、優良事例集を作成した。

(2) モデル実証事業の実施

モデル実証事業の実施にあたっては、その地域の実情に応じた事業として行うため、選定されたモデル実証事業ごとに企画検討会を開催し、具体的な取組内容やスケジュール等についての検討を進め、この検討結果に基づいてモデル実証事業実施者が事業を進めた。

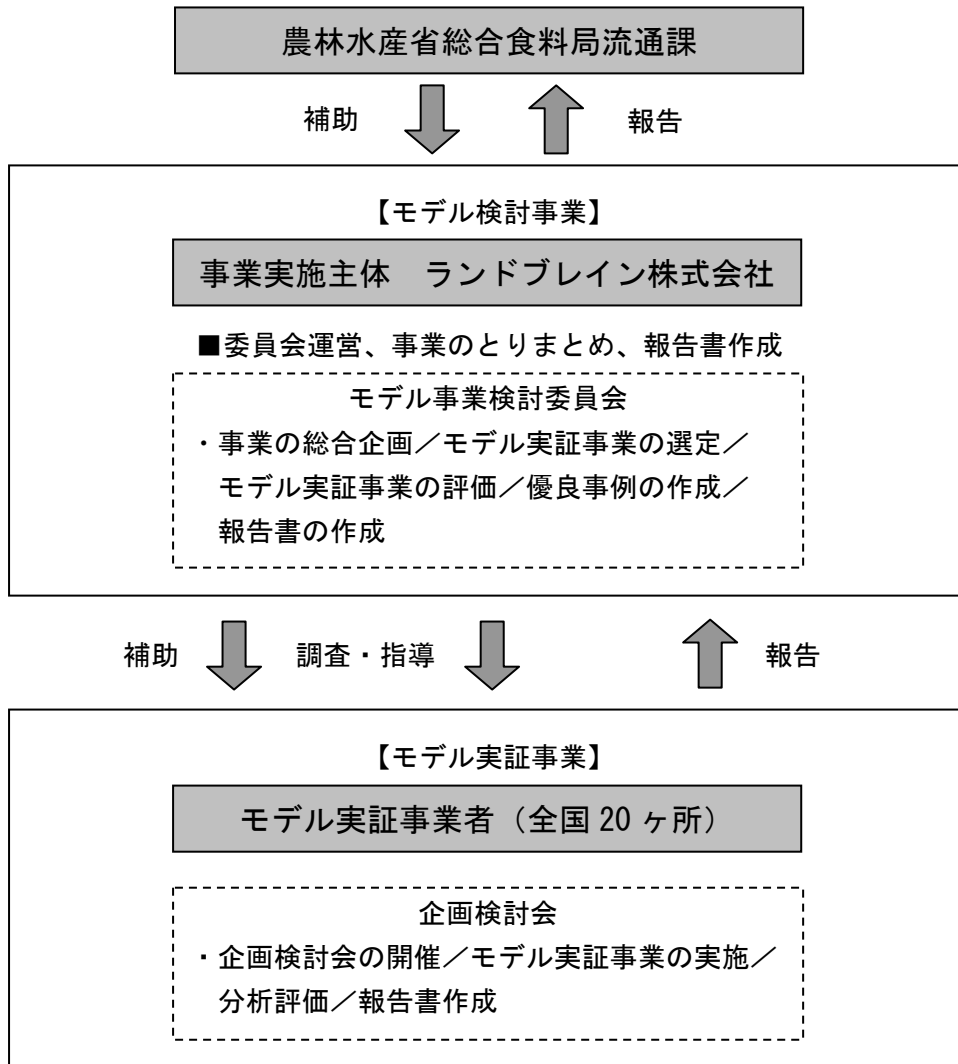
また、モデル実証事業者は、事業に参加した食料品小売店の売上が10%以上向上することを目標とするとともに、新たに食料品小売店をはじめようとする者は、モデル事業実施期間中の営業利益が黒字になることや、商店街全体の来客数が対前年比10%以上向上することなど、本事業の趣旨にあった事業目標を各自設定し、効果測定及び分析を行った。



3. 検討体制

本事業の検討体制を以下に示す。

■事業実施体制



4. モデル事業検討委員会の開催状況及びモデル実証事業地区・企画検討会へのアドバイス

(1) モデル事業検討委員会

モデル事業検討委員会は以下の3回を開催した。

第1回は、「モデル実証事業の公募要領」、「モデル実証地区の審査基準」の検討を行った。

第2回は、モデル実証地区の選定作業を行った。なお、モデル実証地区選定後、2事業者が事業辞退したことから、第2回モデル事業検討委員会の議論をふまえ、事務局にて入れ替え事業者案を示し、全委員から個別に了承を得た後、事業者の追加決定を行った。

第3回は、モデル実証事業者から提出のあった報告書をもとに、今回の実証事業の数値目標の達成状況、事業課題を把握し、商店街活性化に資する地域流通のビジネスモデル構築に向けた課題を整理した。

■モデル事業検討委員会経過

	開催日時、会場	検討議題
第1回	平成21年8月21日(金) 10:00~12:00 スペースTOKU会議室B (東京駅八重洲口)	①平成21年度地域流通モデル構築支援事業(商店街活性化タイプ)について ②モデル地区募集に際しての公募要領に関して ③モデル地区選定にあたっての審査基準に関して
第2回	平成21年9月29日(火) 13:30~16:00 貸会議室東京駅(駅前会議室 アットビジネスセンター) 3階Ⅲ号室	①モデル地区選定作業 ・応募状況の報告 ・事務局評価に関して ・選定作業
第3回	平成22年3月16日(火) 10:00~11:40 スペースTOKU会議室B (東京駅八重洲口)	①事業地区における事業経過の報告 ・各地区の取組内容と目標指標の達成状況 ・各地区が捉える今後の課題 ②商店街活性化に資する地域流通のビジネスモデル構築に向けて

■モデル検討委員名簿

(五十音順)

	氏名	団体・会社名及び所属	分野等
委員	阿部 眞一	全国商店街振興組合連合会 理事	小売業団体
委員長	石原 武政	関西学院大学 商学部 教授	商業・流通分野の学識者
委員	小原 貢久	ハッピーロード大山商店街振興組合 理事長	商業・小売業
委員	久保 裕史	北の起業広場協同組合 専務理事	小売・流通業
委員	斉藤 温文	株式会社 びいと六十 代表	経営コンサルタント
委員	庄司 祐子	穂波街道 農場レストラン 緑のイスキア 店長	農業生産者

(2) モデル実証事業地区・企画検討会へのアドバイス

本事業では、モデル実証事業者の行う企画検討会に、モデル事業検討委員会の各委員が事業の相談・指導のために出席した。以下、出席地区を示す。

■モデル実証事業地区・企画検討会へのアドバイス

	事業者	実施場所	委員名
1	有限会社ラブサムプロジェクト	北海道帯広市	久保委員
2	青森市新町商店街振興組合	青森県青森市	斉藤委員
3	盛岡市肴町商店街振興組合	岩手県盛岡市	阿部委員
4	(株) マルセン食品	宮城県南三陸町	阿部委員
5	有限会社なかの食品	山形県三川町	庄司委員
6	井筒屋	新潟県村上市	庄司委員
7	特定非営利法人 Made in 越後	新潟県新潟市	庄司委員
8	泉町二丁目商店街振興組合	茨城県水戸市	小原委員
9	有限会社峯島商店	千葉県いすみ市	—
10	協同組合やまと商業活性化センター	神奈川県大和市	小原委員
11	久里浜仲通り商店街振興組合	神奈川県横須賀市	久保委員
12	ライブモール商店街振興組合	静岡県浜松市	久保委員
13	飯田町商店街協同組合	石川県珠洲市	斉藤委員
14	漆市番	石川県輪島市	斉藤委員
15	合同会社笑人堂	福井県大野市	斉藤委員
16	川之江栄町商店街振興組合	愛媛県四国中央市	石原委員長
17	内子商店会	愛媛県内子町	石原委員長
18	土佐市商工会宇佐支部	高知県土佐市	—
19	美容室シュプールエム	福岡県福岡市	—
20	有限責任事業組合平戸物産振興組合	長崎県平戸市	—

※委員名の「—」は、委員と実証事業地区の企画検討会の日程調整が出来なかったため、企画検討会に委員が出席できなかった地区。

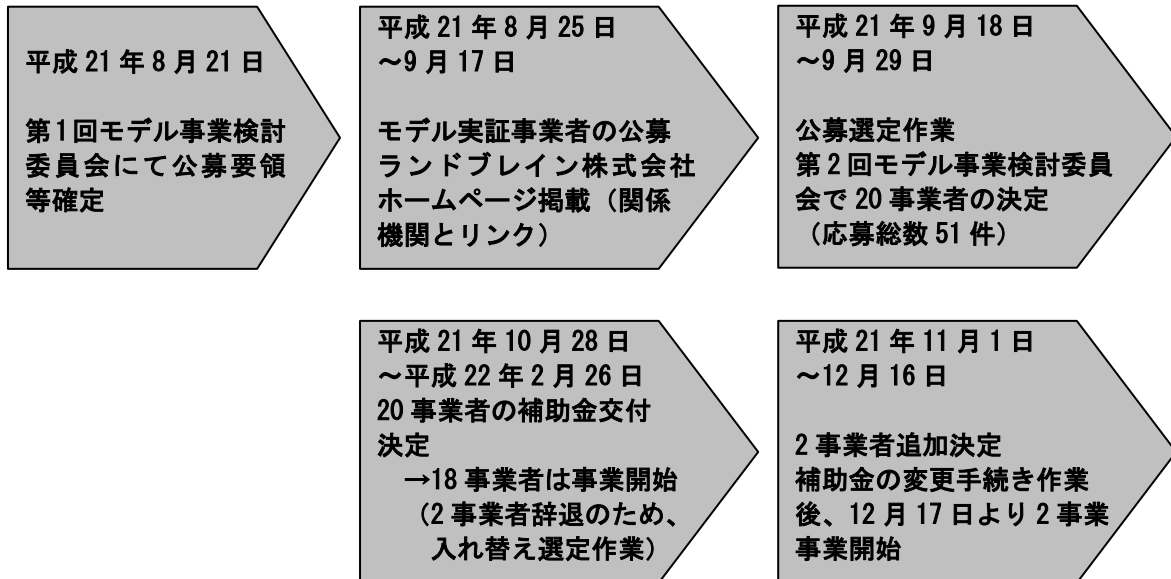
5. モデル実証事業の公募とその結果

モデル実証事業の公募の経過と選定結果は以下のとおりである。

当初選定した事業者において、予定していた空き店舗の確保が困難となった等の理由で事業の実施が不可能となった2事業者が辞退したため、青森市新町商店街振興組合（青森県青森市）及び協同組合やまと商業活性化センター（神奈川県大和市）の2事業者を新たに選定した。

なお、補助金交付の変更手続き作業により、この2事業者に関しては、平成21年12月17日からの事業開始となった。

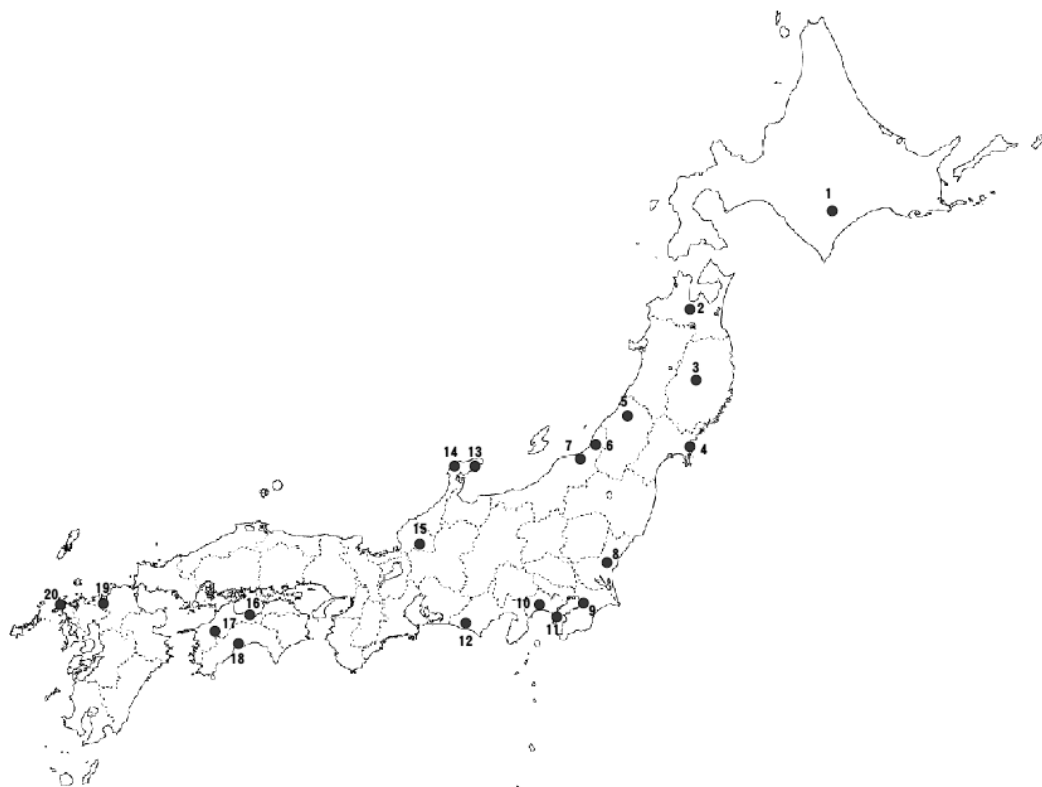
■モデル実証事業の公募の経過



■モデル実証事業の公募結果

	事業者	実施場所	事業テーマ
1	有限会社ラブサムプロジェクト	北海道 帯広市	『帯広グリーンプロジェクト』 ～氷点下 20 度でも地元緑野菜を食卓に～
2	青森市新町商店街振興組合	青森県 青森市	しんまち新鮮産直市場「まちの駅」
3	盛岡市肴町商店街振興組合	岩手県 盛岡市	地元農水産物の直接仕入れと宅配によるダイレクト販売事業
4	㈱マルセン食品	宮城県 南三陸町	南三陸町食彩交流ネットワーク事業 (食育と地域協働活性化プロジェクト)
5	有限会社 なかの食品	山形県 三川町	三位一体 農・商・公連携 「暮らしの元気」セットアッププラン
6	井筒屋	新潟県 村上市	観光と暮らしを両立させた「地産地消コンビニ」の開設による商店街の賑わい創出事業
7	特定非営利法人 Made in 越後	新潟県 新潟市	地元農産物を媒介とした双方向コミュニケーションの場を提供し、消費者との絆を強くすることによる商店街活性化モデルの構築
8	泉町二丁目商店街振興組合	茨城県 水戸市	地域農産物等の消費拡大と購入機会の少ない地域消費者との流通を目的に、昭和ロマン建築(泉町会館)の再生及び中心市街地商店街活性化モデル構築事業
9	有限会社 峯島商店	千葉県 いすみ市	地元農水産物、同加工品及び地元特産品の直接販売ならびに都市部への企画販売による商店街活性化モデルの構築
10	協同組合やまと商業活性化センター	神奈川県 大和市	地元農産物の直接販売とアンテナショップ設置に向けた商店街活性化モデルの構築
11	久里浜仲通り商店街振興組合	神奈川県 横須賀市	地元産品が集まる「黒船市場」の展開による商店街の活性化
12	ライブモール商店街振興組合	静岡県 浜松市	地元農産物の直販流通と消費拡大による商店街活性化モデルの構築
13	飯田町商店街協同組合	石川県 珠洲市	伝統ある朝市と連動させた地域農林水産物の流通拡大による商店街活性化モデルの構築
14	漆市番	石川県 輪島市	「北前船ネットワーク」と「海の家 六銘館」を活用した商店街活性化のための地域農水産物流通モデル事業
15	合同会社 笑人堂	福井県 大野市	農家との連携による商店街活性化事業
16	川之江栄町商店街振興組合	愛媛県 四国中央市	商店街を会場として、地域の農産物や地元海産物などの直販生鮮市『食の回廊(仮称)』を新規開催することによる消費の創出と、街の賑わい創出及び活性化モデルの構築事業
17	内子商店会	愛媛県 内子町	商店街ビュッフェ(持寄り惣菜)と農産物の産直流通体系の構築
18	土佐市商工会宇佐支部	高知県 土佐市	宇佐漁港一本釣りうるめイワシの消費拡大と高知海洋高校との協働による商店街活性化モデルの構築
19	美容室シュプールエム	福岡県 福岡市	若い力が“まち”と“むら”を結ぶ! ～安全・安心の農産物を活かした、たかとりチャレンジショップの実現～
20	有限責任事業組合平戸物産振興組合	長崎県 平戸市	農商工連携による空き店舗を利用した農水産品直売所で商店街を活性化

(実証事業位置図)



※地図上の番号は、前頁の事業者の番号に該当

